

## 2.7 淀川（宇治川及び瀬田川を含む）

### (1) 水域の概要

日本最大の湖「琵琶湖」を源とする淀川は、その上流部では瀬田川、中流部では宇治川と呼ばれ、京都府・大阪府境界付近で桂川、木津川と合流した後は淀川となり、大阪市をはじめとする近畿圏の中心部を貫き大阪湾に注ぐ流域面積8,240km<sup>2</sup>、幹川流路延長75.1kmの一級河川である。

### (2) 水質の状況

#### 1) 水域類型指定状況（図 7.1）

既存生活環境項目（BOD・COD・全窒素・全リン等の水生生物保全環境基準を除く項目）の水域類型指定状況は、瀬田川全域・宇治川(1)・宇治川(2)・淀川下流(1)・(2)の5区分で、瀬田川全域・宇治川(1)はA類型、宇治川(2)・淀川下流(1)はB類型、その下流はC類型に指定されている。

#### 2) 水質汚濁の状況（表 7.2、図 7.2～図 7.4）

BOD75%値の5年平均を見ると、最下流の伝法大橋では近年の水質がやや高くなっているが、それ以外の地点では年々水質が改善している。いずれの地点も継続的に環境基準を満たしている。

#### 3) 亜鉛の水質の状況（図 7.5～図 7.7）

全亜鉛は概ね0.005～0.01mg/Lの範囲で変動している。

淀川本川における亜鉛排出事業所としては下水処理場・洗濯業・金属製造業等、全体で23件存在しており、そのうち当該水域へ直接放流する事業所（PRTR対象事業所）は3件で、年度排出量が1000kg超・100kg超・10kg超・1kg超・1kg以下の順で見ると2件・0件・0件・0件・1件となっている（出典：平成18年度水質汚濁物質排出量総合調査データ、平成18年度PRTRデータ）。

### (3) 水温の状況（図 7.8～図 7.9）

水温は、上流付近で平均水温17℃程度であるが、下流へ向かうにしたがって上昇し、下流域では平均水温18℃程度となっている。

### (4) 水域の構造等

#### 1) 河床材料（図 7.10）

河床材料は、上流域から洗堰下流までが砂・礫・岩、洗堰下流から淀川大堰までが砂・礫、淀川大堰～河口までが泥・砂となっている。

#### 2) 流量（図 7.11）

流量は唐橋等で測定されており、それぞれの低水流量は唐橋で約50m<sup>3</sup>/s、淀大橋で約90 m<sup>3</sup>/s、枚方大橋で130 m<sup>3</sup>/s程度となっている。

#### 3) 主な河川構造物（図 7.12）

堰やダム等について、上流から見ると、洗堰・天ヶ瀬ダム・淀川大堰が設けられており、このうち淀川大堰には魚道が設置されている。

(5)魚介類の生息状況（表 7.1・表 7.3、図 7.13～図 7.14）

1) 冷水性の魚介類

(a)基本情報

河川水辺の国勢調査等によると、当該河川では冷水性魚介類は確認されていない。

(b)ヒアリング情報

表7.1のとおり。

2) 温水性の魚介類

(a)基本情報

温水性の魚介類は全般的にコイ・フナ類・オイカワ・ヨシノボリ類等が確認されている。

(b)ヒアリング情報

表7.1のとおり。

3) その他関連情報

アユについては河川水辺の国勢調査（国土交通省）等によると、三川合流点より下流で確認されている。

また、淀川においては上流の滋賀県・京都府内に内水面の漁業権が設定されており、アユ・アマゴ・ウナギ・フナの放流事業も実施されているが、大阪府内の流下域には漁業権が設定されていない。

表7.1 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果概要（淀川）

項目	上流	中流	下流
魚介類の生息に関する情報	<p>①代表的及び特徴的な魚介類としてアユ・コイ・フナ・オイカワ等があげられる（宇治川漁協）。</p> <p>②イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（宇治川漁協）。</p> <p>③コイ・フナ類は上流全域に生息している（大阪府水生生物センター）。</p> <p>④河川水辺の国勢調査によれば、鹿跳橋でニジマスが確認されているが、当該種は周辺及び上流支流にて放流等されていること、主な生息域は支川の上流域なので、偶発的に出現した個体と考えられる（滋賀県水産試験場）。</p>	<p>①代表的及び特徴的な魚介類としてイタセンバラ（大阪府水生生物センター）、コイ・フナ類（京淀川漁協）である。</p> <p>②イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（大阪府水生生物センター・京淀川漁協）。</p> <p>③コイ・フナ類は中流全域に生息している（大阪府水生生物センター・京淀川漁協）。</p>	<p>①代表的及び特徴的な魚介類としてイタセンバラがあげられる（大阪府水生生物センター）。</p> <p>②イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（大阪府水生生物センター）。</p> <p>③コイ・フナ類は下流全域に生息している（大阪府水生生物センター）。</p> <p>④淀川河川事務所及び大阪府水産課において、1987年～1999年までサツキマスの放流事業が実施されていた（大阪府では淀川大堰下流で放流）。2000年以降は実施されていない。</p> <p>淀川河川事務所によれば毎年11月末～12月初旬の時期に、1987年は5,000尾、1988年、1991年、1992年は10,000尾、1993年は20,000尾、1994～1996年は10,000尾放流された（淀川河川事務所、大阪府水産課）。</p>

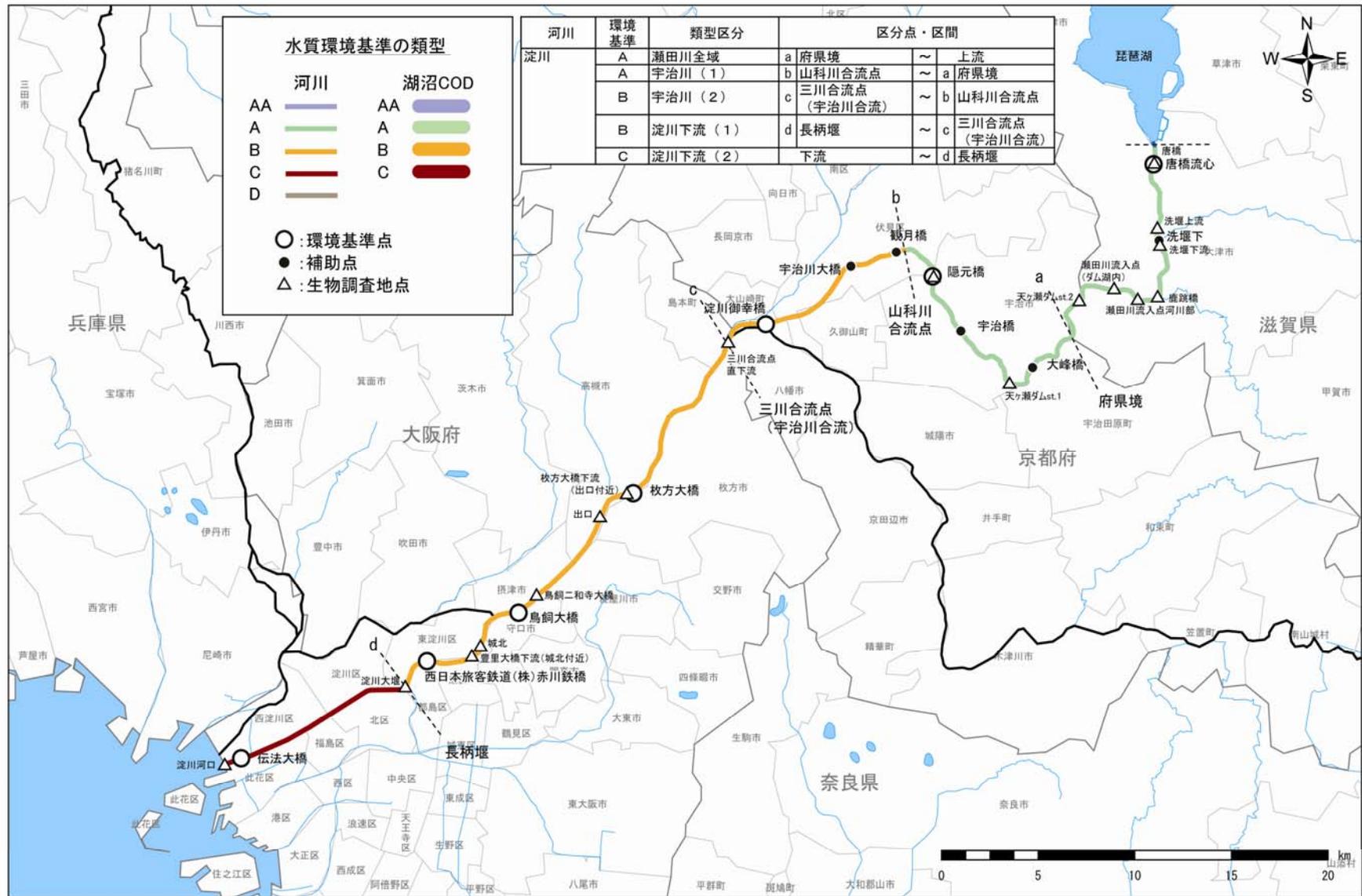


図7.1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況（淀川）

表7.2 近年の水質状況（淀川）

水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)				
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	
瀬田川	A	唐橋流心	H16	0.5	2.8	1.0	0.9	2	7.5	8.5	6.5~8.5	7.7	13.0	9.6	7.5	1	7	3	25	17	13,000	5,000	1,000	
			H17	0.5	2.4	1.0	1.0		7.6	8.6		7.5	12.0	9.7		1	6	4		79	4,900	1,200		
			H18	0.6	2.2	1.1	1.3		7.5	8.8		7.0	12.0	9.5		1	6	4		130	7,900	1,700		
瀬田川	A	洗堰下	H16	0.5	2.0	1.1	1.2	2	7.4	8.3	6.5~8.5	7.7	13.0	10.0	7.5	2	18	4	25	70	2,800	1,200	1,000	
			H17	0.7	2.6	1.1	1.3		7.5	8.8		8.5	14.0	11.0		2	13	5		94	23,000	3,800		
			H18	< 0.5	1.4	1.0	1.2		7.4	8.1		7.8	13.0	11.0		2	8	4		70	4,900	1,500		
宇治川（1）	A	大峰橋	H16	< 0.5	1.2	0.7	0.8	2	7.2	7.8	6.5~8.5	6.8	12.0	9.6	7.5	1	5	3	25	140	13,000	2,100	1,000	
			H17	< 0.5	2.1	0.9	1.0		7.4	8.2		7.2	10.0	9.0		<	1	7		3	33	11,000		2,400
			H18	< 0.5	2.1	1.0	1.0		7.4	8.3		6.9	12.0	10.0		1	8	3		33	4,900	1,500		
宇治川（1）	A	宇治橋	H16	0.5	1.7	0.8	1.1	2	7.2	8.4	6.5~8.5	7.5	12.0	9.5	7.5	1	4	2	25	330	13,000	3,200	1,000	
			H17	0.7	1.2	0.8	0.8		7.5	8.5		8.7	13.0	10.0		1	9	4		170	33,000	6,500		
			H18	0.7	3.6	1.5	1.0		7.5	8.1		8.2	12.0	9.8		1	8	3		49	3,300	1,100		
宇治川（1）	A	隠元橋	H16	0.6	2.7	1.0	1.1	2	7.1	8.4	6.5~8.5	7.7	12.0	9.8	7.5	1	6	2	25	170	7,900	1,600	1,000	
			H17	0.7	1.4	0.9	1.0		7.3	8.7		8.5	13.0	10.0		1	8	4		460	11,000	3,800		
			H18	0.5	1.5	0.9	1.1		7.4	8.1		7.6	12.0	9.8		1	14	4		490	33,000	5,800		
宇治川（2）	B	観月橋	H16	0.6	1.8	1.1	1.4	3	7.4	8.2	6.5~8.5	7.9	12.0	9.7	5	2	3	3	25	490	7,900	2,400	5,000	
			H17	0.7	1.3	0.9	1.0		7.6	8.5		8.5	14.0	11.0		1	9	4		790	33,000	6,900		
			H18	0.6	1.1	1.0	1.1		7.6	7.9		8.0	12.0	9.9		1	8	4		490	4,900	1,700		
宇治川（2）	B	宇治川大橋	H16	0.7	3.4	1.5	1.5	3	7.3	8.3	6.5~8.5	7.9	12.0	9.9	5	3	5	4	25	220	33,000	8,800	5,000	
			H17	0.7	2.0	1.1	1.2		7.7	8.5		8.4	14.0	11.0		2	9	5		1,300	23,000	7,500		
			H18	0.6	1.8	1.3	1.5		7.7	8.1		8.0	12.0	9.9		3	9	6		940	7,900	3,400		
宇治川（2）	B	淀川御幸橋	H16	0.7	1.9	1.1	1.4	3	7.3	8.2	6.5~8.5	6.6	12.0	9.3	5	1	6	4	25	1,300	79,000	13,000	5,000	
			H17	0.7	3.6	1.7	2.4		7.3	8.5		6.9	14.0	10.0		2	21	5		1,300	700,000	22,000		
			H18	0.6	1.9	1.1	1.3		7.5	8.0		6.5	12.0	9.4		3	16	6		1,300	130,000	13,000		
淀川下流（1）	B	枚方大橋	H16	0.6	2.3	1.1	1.1	3	7.4	8.2	6.5~8.5	7.1	12.0	9.5	5	1	13	6	25	280	79,000	14,000	5,000	
			H17	0.8	2.4	1.3	1.5		7.4	8.3		6.9	13.0	9.9		2	14	6		460	49,000	5,600		
			H18	0.6	1.8	1.1	1.2		7.2	8.0		6.4	12.0	9.5		2	16	6		330	79,000	8,700		
淀川下流（1）	B	鳥飼大橋	H16	0.6	1.7	1.1	1.5	3	7.2	8.1	6.5~8.5	7.4	12.0	9.3	5	2	9	6	25	790	130,000	19,000	5,000	
			H17	0.7	2.0	1.3	1.6		7.4	8.1		7.2	12.0	9.8		2	9	5		1,100	130,000	14,000		
			H18	0.6	1.6	1.1	1.2		7.3	7.9		7.3	11.0	9.3		2	14	6		1,100	23,000	6,900		
淀川下流（1）	B	西日本旅客鉄道 （株）赤川鉄橋	H16	0.5	3.8	1.3	1.4	3	7.3	8.8	6.5~8.5	7.5	12.0	9.5	5	3	9	6	25	630	23,000	8,500	5,000	
			H17	0.8	2.7	1.6	1.7		7.5	8.8		8.7	13.0	10.0		3	8	5		490	11,000	4,100		
			H18	0.6	2.0	1.2	1.3		7.4	7.9		7.2	11.0	9.4		3	8	5		1,300	23,000	5,000		
淀川下流（2）	C	伝法大橋	H16	0.5	6.7	1.8	2.5	5	7.2	8.7	6.0~8.5	5.1	13.0	9.3	5	2	8	5	50	—	—	—	—	
			H17	1.3	6.4	3.1	3.8		7.5	8.6		6.0	14.0	9.9		3	18	7		—	—	—		
			H18	0.5	7.1	2.7	4.1		7.4	8.8		5.3	18.0	10.0		3	13	7		—	—	—		

出典：公共用水域水質測定結果（平成16～18年度）

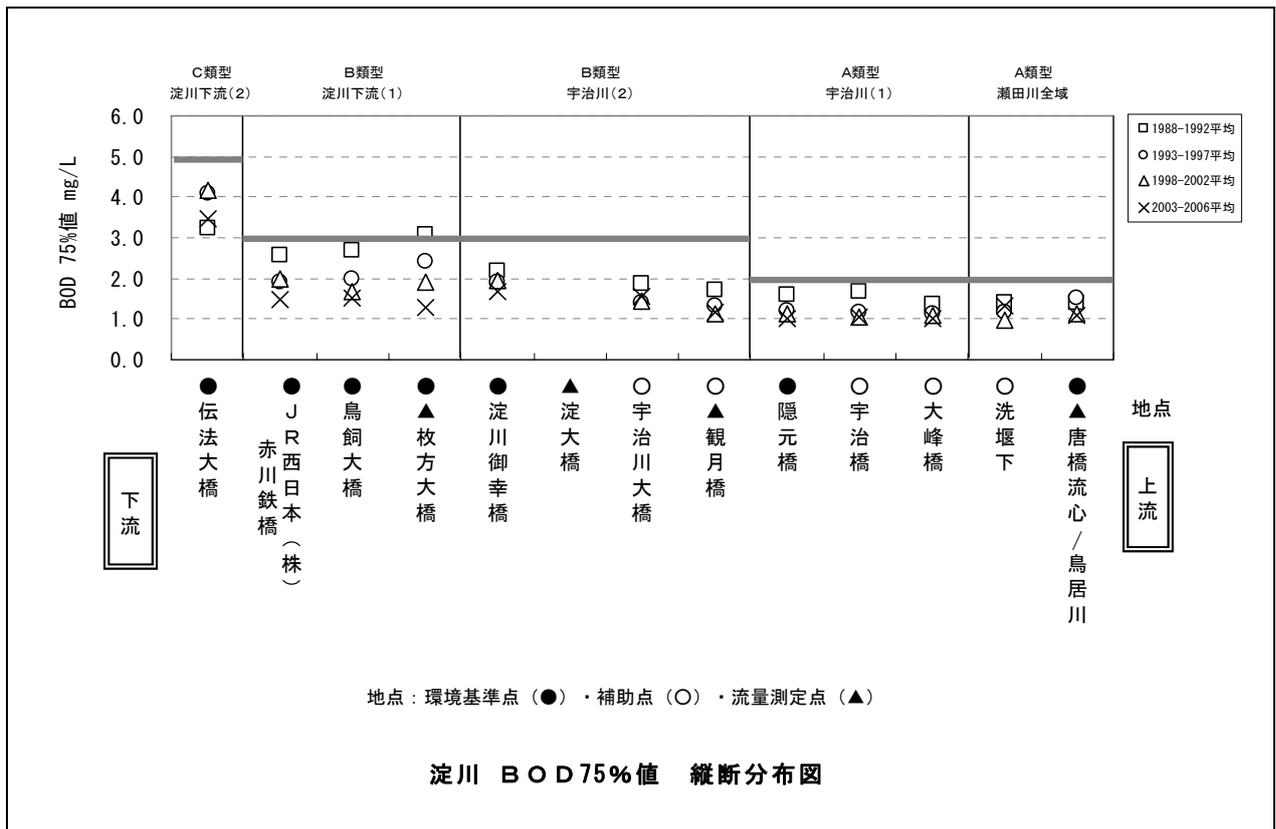


図7.2 BOD75%値の縦断分布図（淀川）

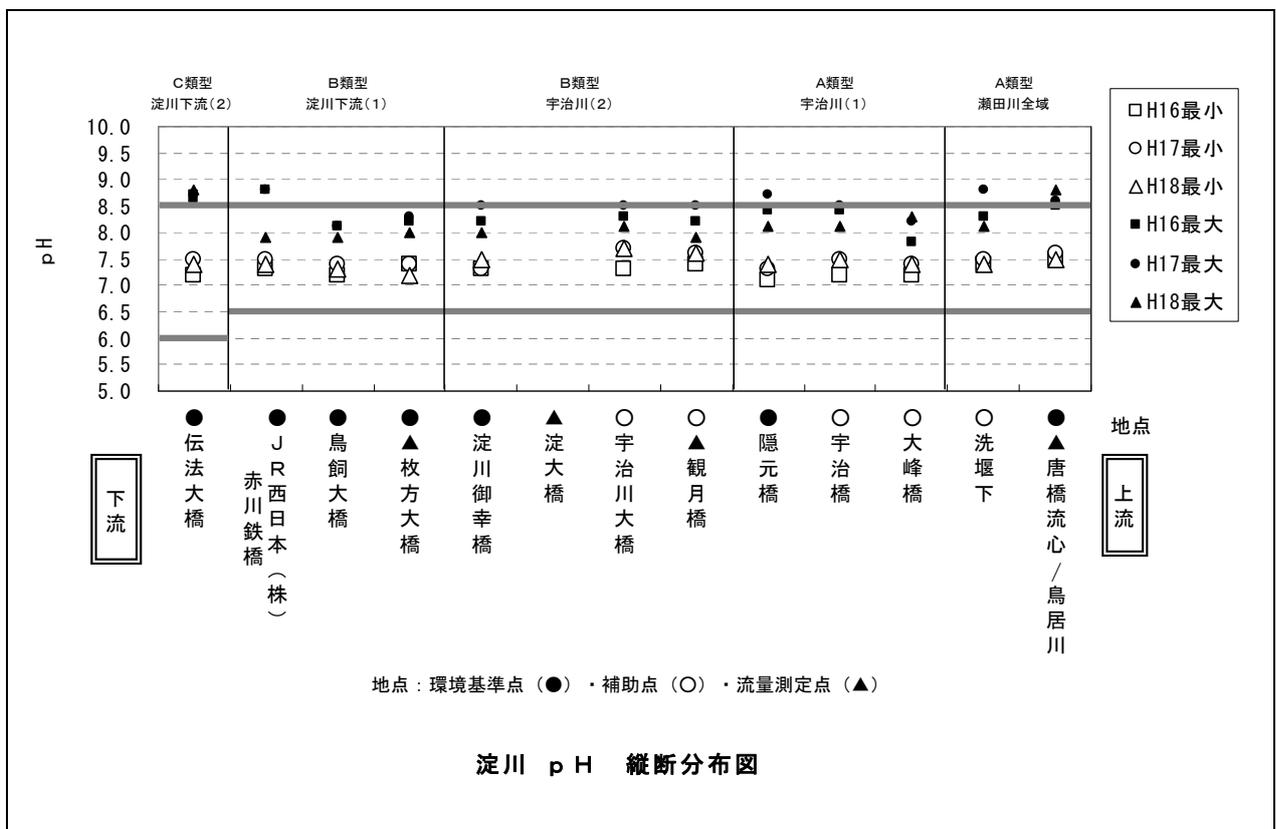


図7.3 pHの縦断分布図（淀川）

出典：公共用水域水質測定結果

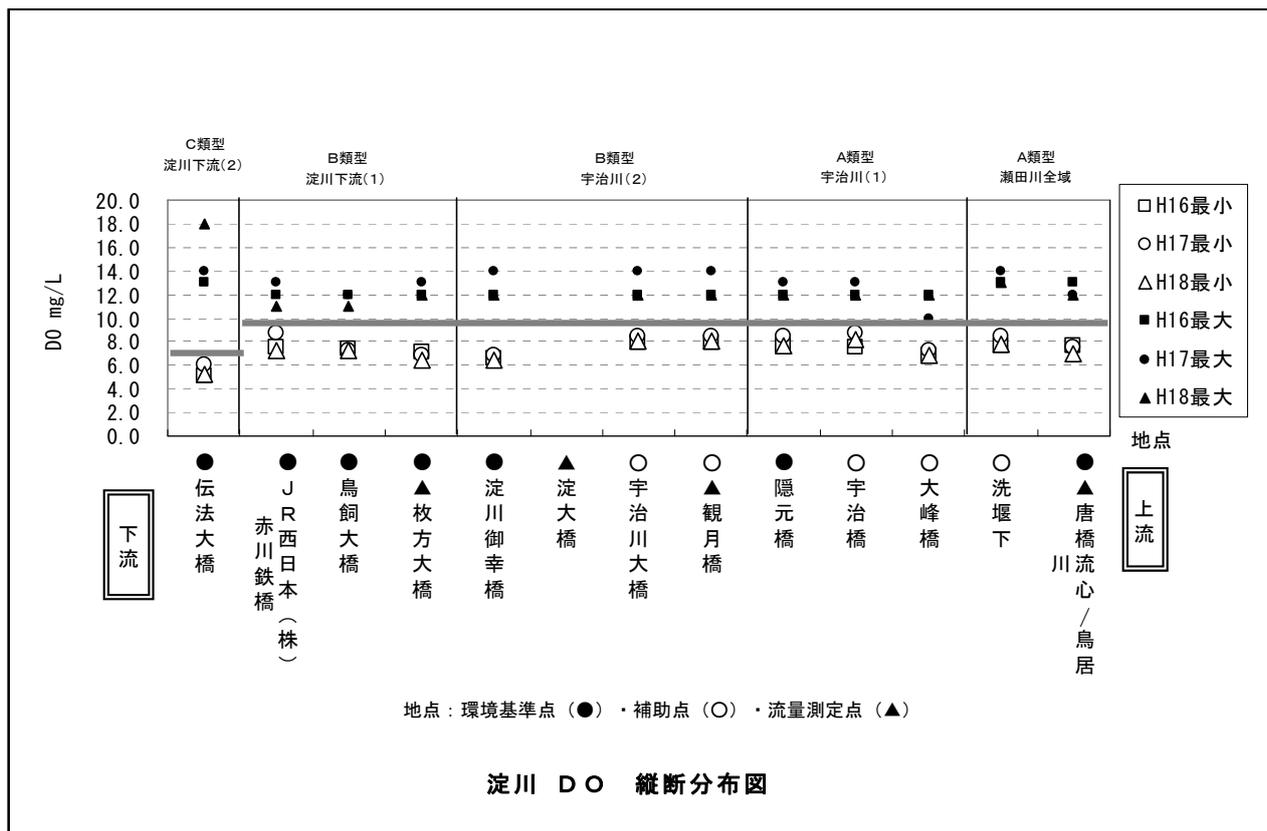


図7.4 DOの縦断分布図 (淀川)

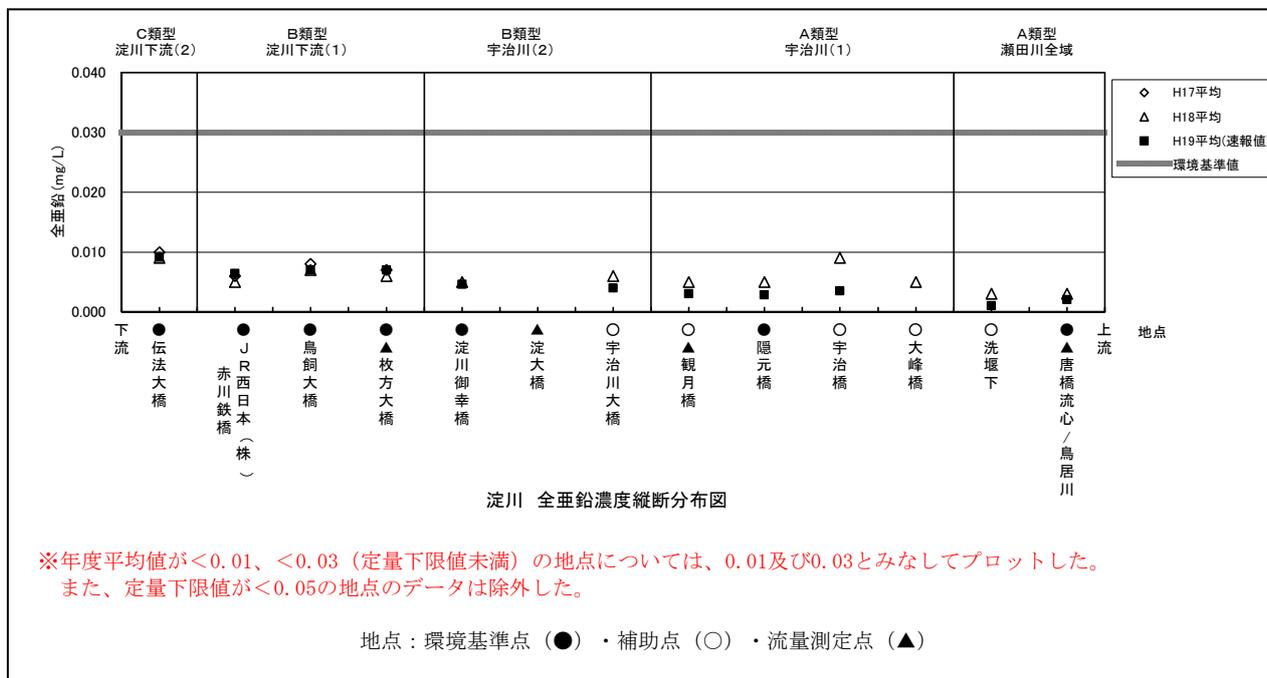


図7.5 全亜鉛の縦断分布図 (淀川)

出典：公共用水域水質測定結果

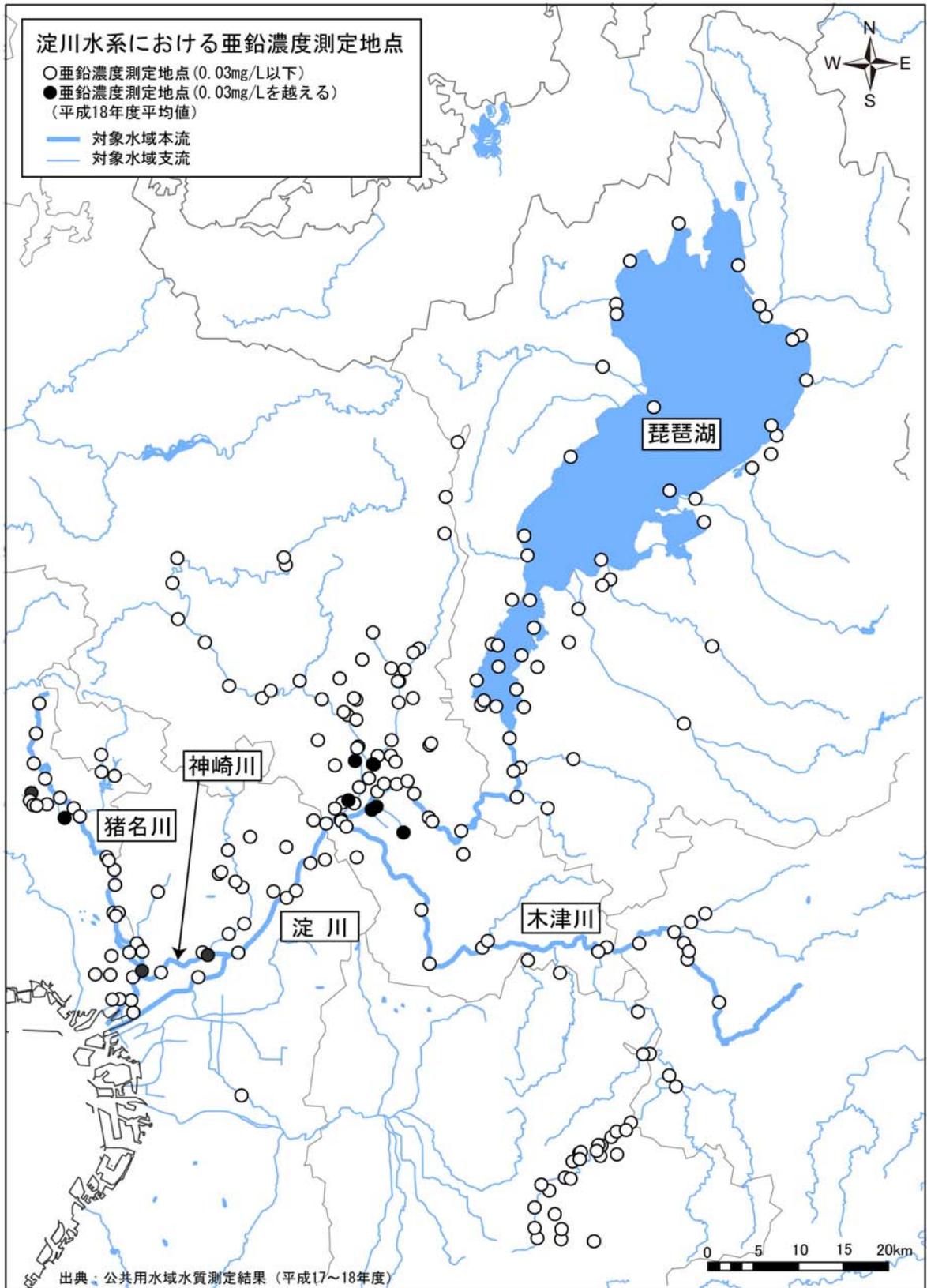


図7.6 亜鉛測定地点（淀川）

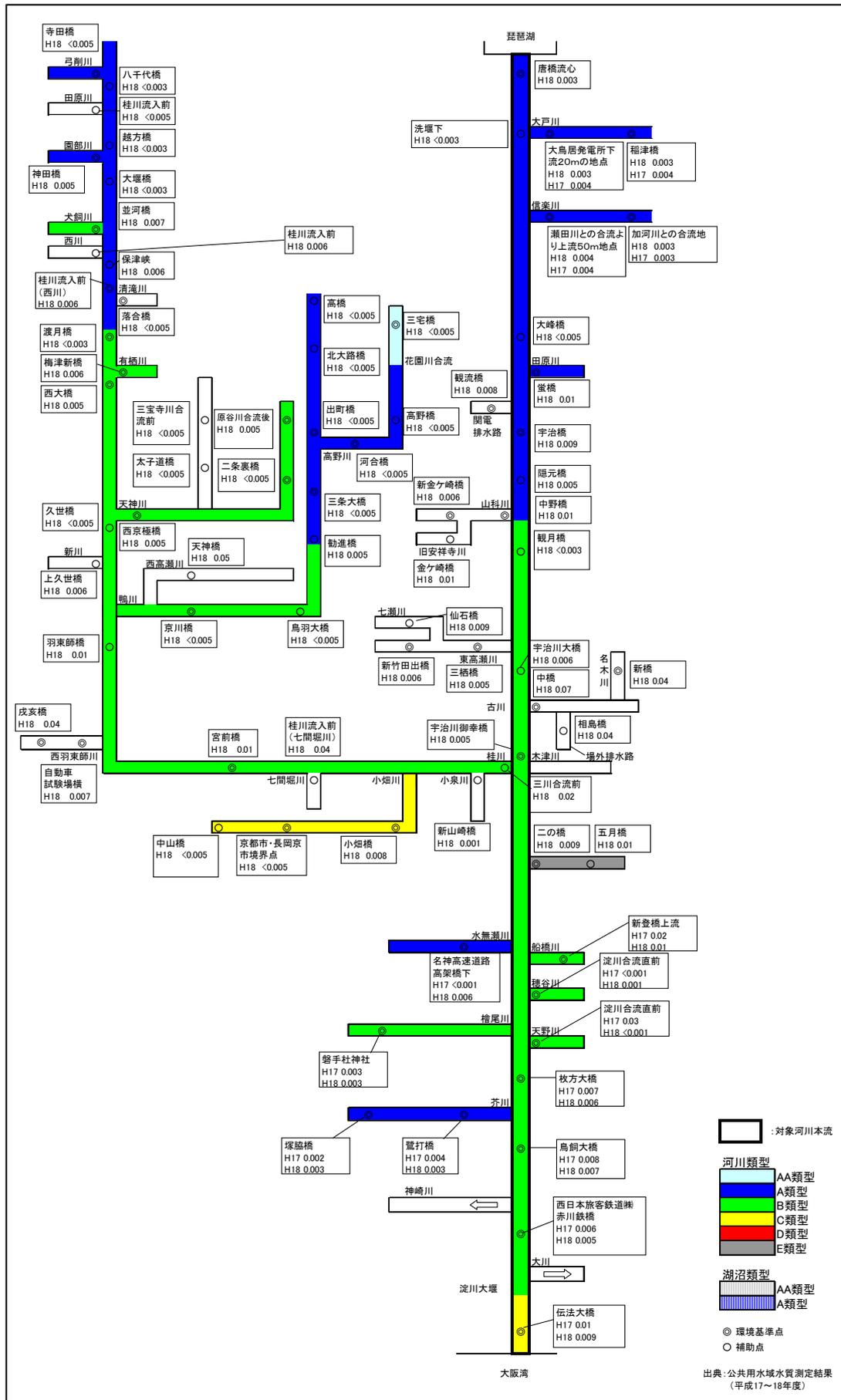


図7.7 亜鉛分布状況（淀川）

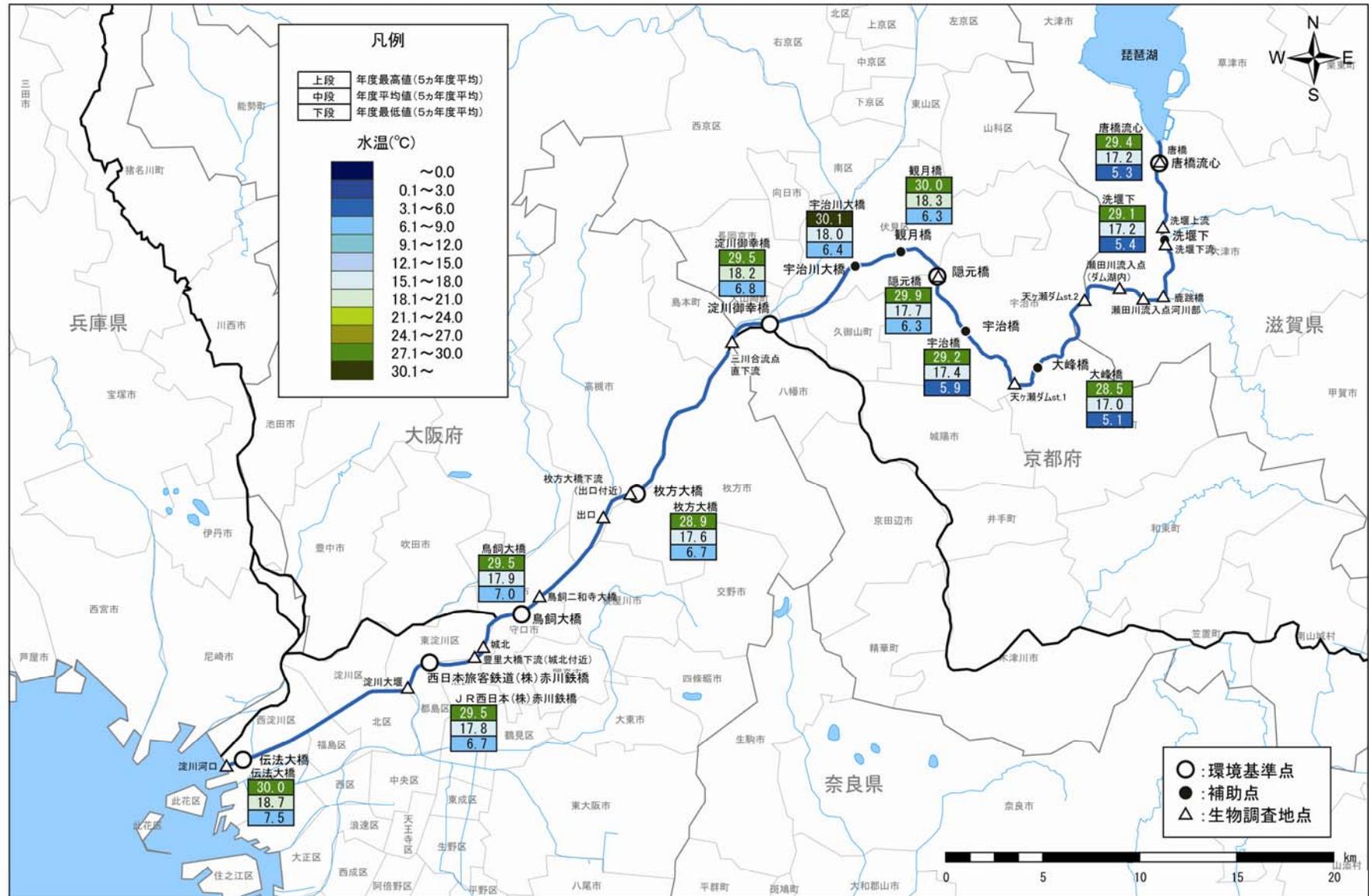


図7.8 水温の分布図(淀川)

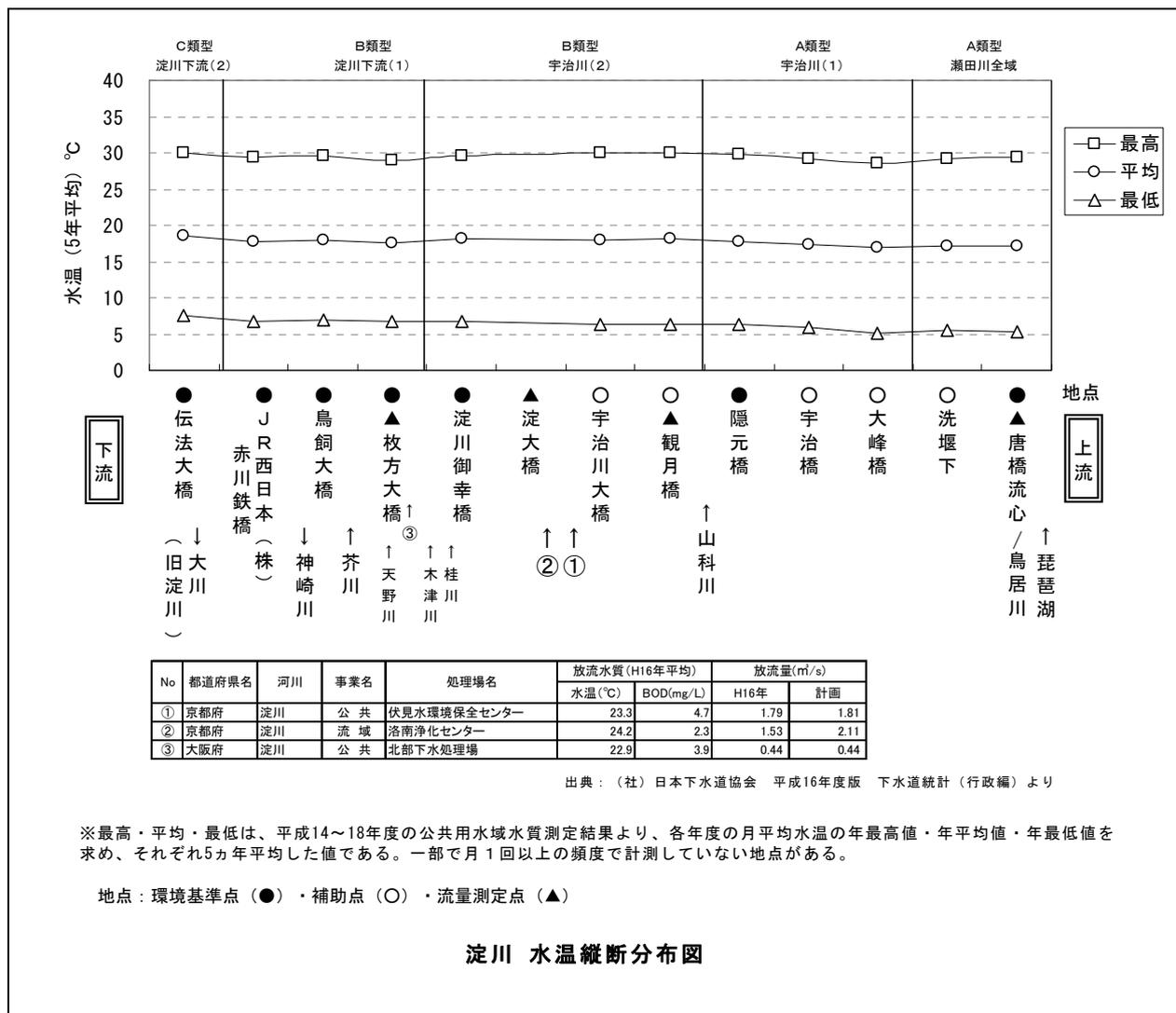


図7.9 水温の縦断分布図(淀川)

出典：公共用水域水質測定結果等

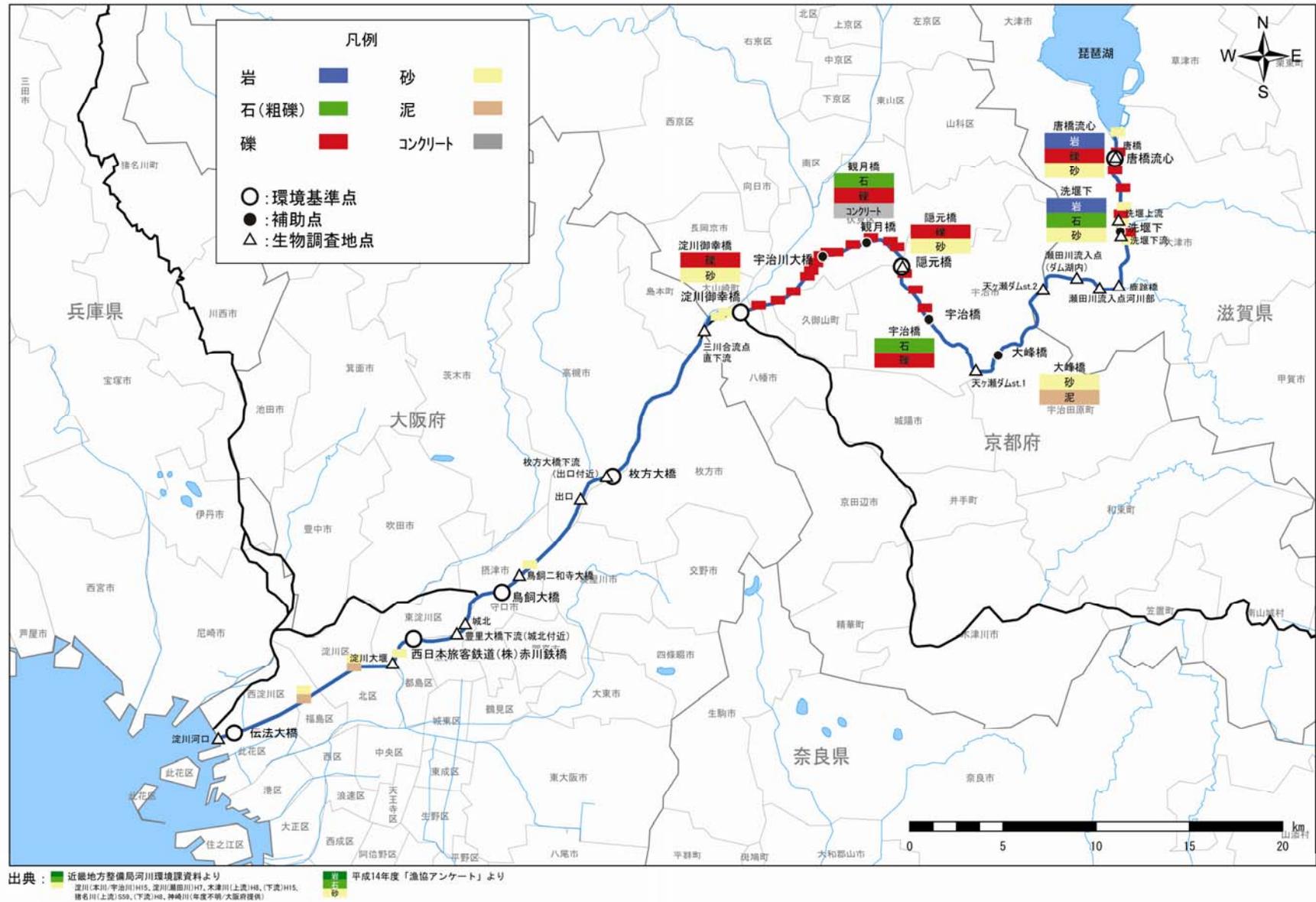


図7.10 淀川の河床材料図(淀川)

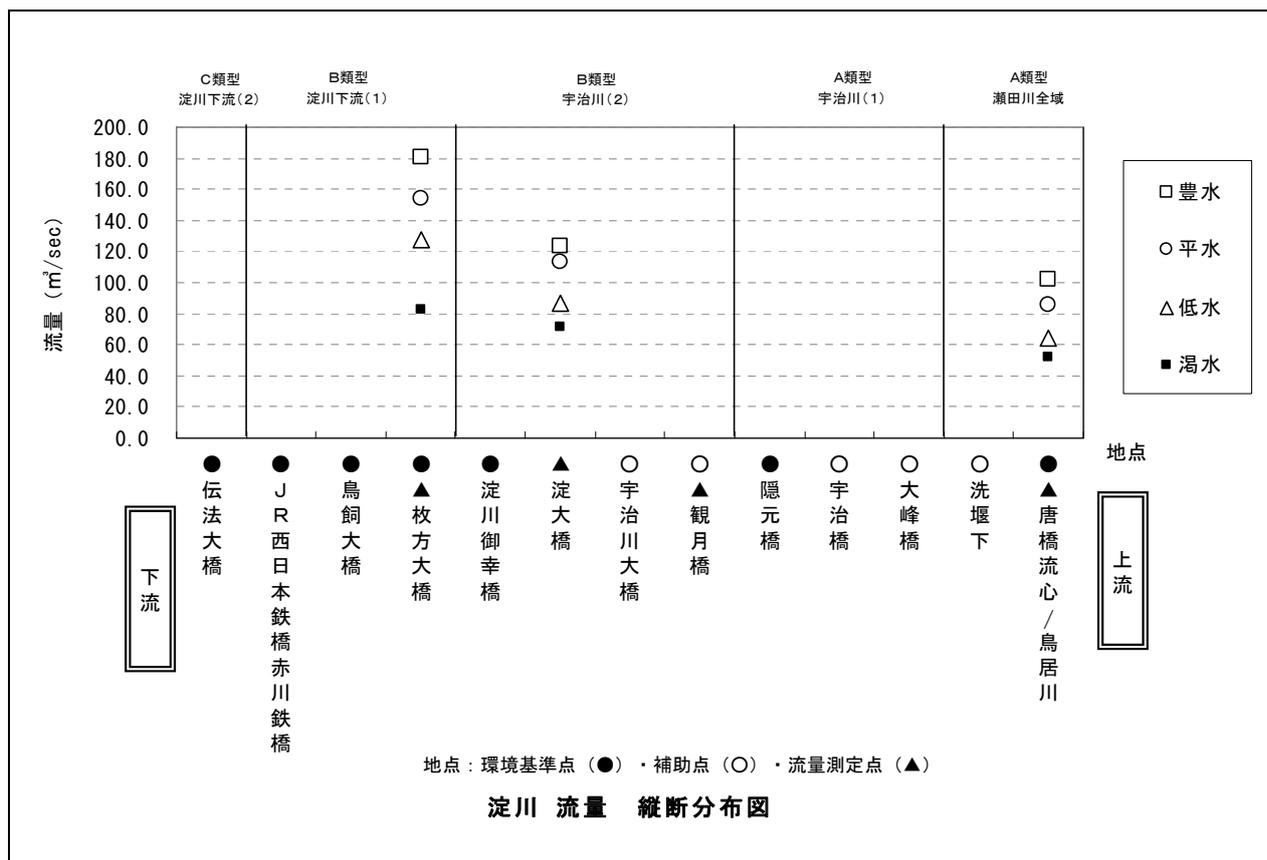


図7.11 流量の縦断分布図（淀川）

出典：流量年表

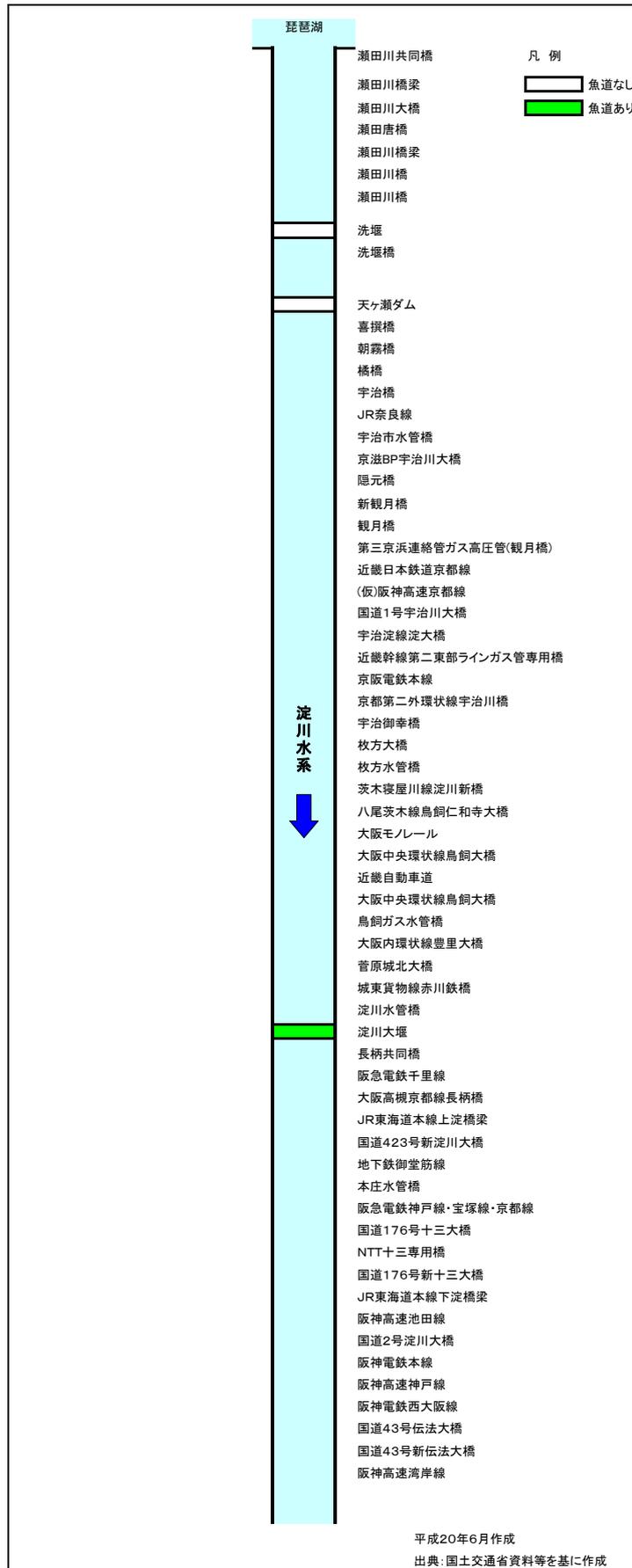


図7.12 主な河川横断工作物（淀川）

